

知床半島ヒグマ管理計画の改訂について

1. 背景

知床半島ヒグマ管理計画は2017（平成29）年4月に策定された。本計画の計画期間は2017（平成29）年4月1日から2022（令和4）年3月31日までの5年間であり、「本計画の終了に際しては計画の見直しを行う」としていることから、本計画期間の最終年度である2021（令和3）年度に必要な見直しを行う必要がある。

2. 見直しの手順

本計画の見直しにあたっては、主に知床ヒグマ対策連絡会議において、計画期間中のヒグマ対策の実施状況とモニタリング結果を整理し、知床世界自然遺産地域科学委員会エゾシカ・ヒグマワーキンググループ（以下「シカヒグマWG」とする）の助言を得ながら、課題の抽出及び対応状況の評価を行い、地域からの意見も踏まえて必要な見直しを行う。

併せて、北海道が策定する「北海道ヒグマ管理計画」との整合をとる。

3. 見直しスケジュール

知床半島ヒグマ管理計画の見直し作業は2021（令和3）年度内に完了させ、2022（令和4）年度より運用する。1年間で見直し作業を行うため、2021年度はシカヒグマWGを計3回（予定）開催して作業を進める。

<スケジュール>

2020（令和2）年度

- ・第2回シカヒグマWG（12月）

知床半島ヒグマ管理計画の見直し検討スケジュール及び改訂案の方向性について確認する。

2021（令和3）年度

- ・第1回シカヒグマWG（6月頃）

知床ヒグマ対策連絡会議でとりまとめた現計画（4年間）の総括・課題等について評価及び助言を行う。また、計画の改訂素案（骨子）について議論し、助言を行う。

- ・第2回シカヒグマWG（9～10月頃）

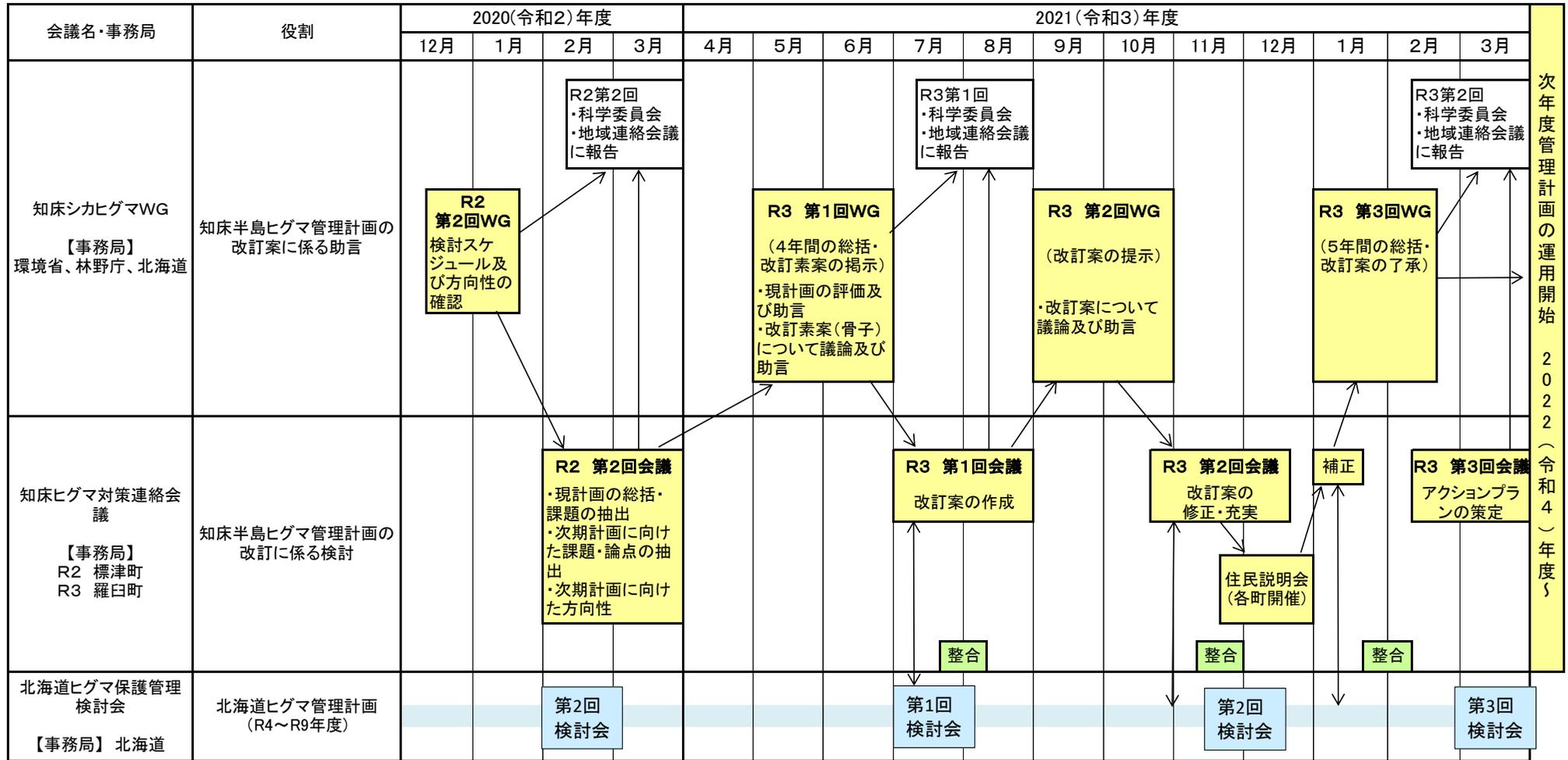
第1回WGでの議論を踏まえ、知床ヒグマ対策連絡会議が作成した計画の改訂案を提示する。改訂案について議論し、助言を行う。

- ・住民説明会（12月頃）

検討結果を踏まえ、住民への説明（前回は斜里町・羅臼町・標津町で開催）を行い、必要に応じて改訂案への意見の反映を行う。

- ・第3回シカヒグマWG（1～2月頃）

令和3年度の対策状況、住民説明会結果、住民アンケート結果等も踏まえた、第2回WGで積み残しとなった課題を中心に細部を確認したうえで、WGとして必要な助言を行う。



注:「→」は検討の流れを示す。